

## 優良公民館が文部科学大臣から表彰されます！

— 「廿日市市津田市民センター」が全国の優良館の中から“優秀館”に選出—

○人づくり・まちづくり・地域づくりに大きく貢献した公民館等（広島県3館）が優良公民館として文部科学大臣表彰を受けます！

○全国72館の優良館の中から、特に優れた取組を行う「優秀館」（全国で最優秀館1館・優秀館4館）として、「**廿日市市津田市民センター**」（『さいき部!』未来創造プロジェクト～若者×デジタルで佐伯の未来を創る！～）が選出されました！

人生100年時代の到来やデジタル社会が進展する中、住民のデジタル・ディバイド解消やデジタル・シティズンシップの育成のため、公民館等の社会教育施設でICTリテラシー向上の取組を充実することが期待されています。

### 1 表彰の趣旨

公民館やその他公民館と同等の社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらした活動を行い、その活動成果を生かして、人づくり・まちづくり・地域づくりに大きく貢献しているものを優良公民館として文部科学大臣が表彰します。

### 2 被表彰館（広島県3館）



**廿日市市津田市民センター**  
「さいき部!」未来創造プロジェクト



**広島市中央公民館**  
リモート公民館ひろしまプロジェクト



**福山市服部交流館**  
はっとり GENKI プロジェクト"smile time"

### 3 被表彰館の概要 別紙のとおり

### 4 表彰式

日時：令和5年2月3日（金）10時50分～11時30分

場所：文部科学省東館3階 第一講堂（東京都千代田区霞が関3-2-2）

※式典後、被表彰者等を対象としたフォーラムを実施予定

### 5 その他

全国で72館が受賞。詳細は、文部科学省HP 報道発表ページを参照。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/01\\_l/08052911/mext\\_00479.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/01_l/08052911/mext_00479.html)

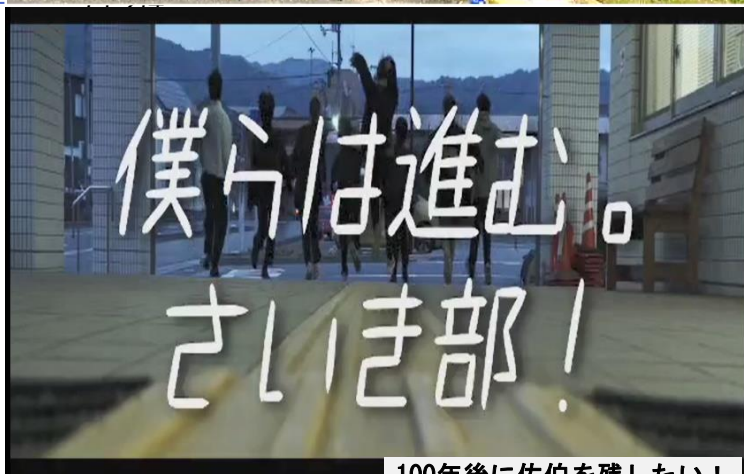
令和4年度優良公民館表彰 被表彰館一覧（広島県）

市町名	被表彰者の名称	キャッチフレーズ	活動内容等
廿日市市	津田市民センター 【優秀館】	「さいき部!」未来創造プロジェクト～若者×デジタルで佐伯の未来を創る!～	<p>廿日市市津田市民センターでは、『「さいき部!」未来創造プロジェクト』として、「地域を自分たちの力で元気にしたい」という思いのある地元高校生たちのプロジェクトチーム（さいき部）を設立し、伴走型の支援を行っている。</p> <p>「さいき部!」に参画する高校生は、高齢者対象の「スマホ活用講座」にボランティアとして参画したり、地域の魅力を発信するPR動画を作成してSNSで発信したりするなど、デジタルディバイドの解消やデジタルシティズンシップの育成に向けた様々な活動を主体的に行っている。</p> <p>高齢化率が43%を超える地域にあって、若者とデジタルの力の相乗効果により、子供から高齢者まで多くの住民が学び、つながり、地域の未来が創り出されようとしている。</p>
広島市	中央公民館	リモート公民館ひろしまプロジェクト	<p>広島市中央公民館では、コロナ禍において一早くオンラインを導入し、公民館がこれまでに提供してきた集合対面型の事業を補充するとともに、そのノウハウを市内の公民館等に提供し、幅広い学習成果の発信等を通して、公民館の未利用層へのアプローチにもつながりながら事業を展開している。</p> <p>中央公民館が中心となり、市内の地区館等が連携しながら、ZoomやYouTubeを活用して事業を展開し、他地域とのつながりづくりや新たな参画者の開拓に寄与している。</p> <p>広島市の中央公民館として、ネットワークを形成しこれからの公民館活動の新しい形を示すとともに、地域振興にも大きく寄与している。</p>
福山市	服部交流館	みんなで一緒になんか面白いことやってみようやあ!	<p>小学校が閉校し地域の衰退化が危惧される現状の中、服部交流館（旧公民館）が中心となり、子供たちが多世代の人と関わり、地域への愛着心を醸成することを目指し、「はっとりGENKIプロジェクト」を展開している。</p> <p>プロジェクトは交流館が支援し、地域の小学校5年生から高校3年生までの子供たちの有志が敬老会や落成イベント等での企画について意見を出し合う場を設定し、カフェの出店や手作りおばけやしき等の企画を実施してきた。</p> <p>地域の子供たちの自主性を育み、多世代の住民と関わる中で互いに学び合える環境をつくり、地域への愛着心を醸成している。</p>

「さいき部!」未来創造プロジェクト

～ 若者 × デジタル で 佐伯の未来を創る ! ～

廿日市市津田市民センター



公民館の沿革・年表

- ・昭和53年12月 旧佐伯町農村環境改善センター（町民ホール）完成
- ・平成15年 3月 佐伯町が廿日市市と合併
- ・平成19年 4月 さいき文化センター（津田市民センター）開館
- ・平成31年 1月 駐車場内に交通結節点を整備（中山間部のバス路線再編のため）
- ・令和 3年 4月 ネーミングライツパートナー契約により、「水と緑のまち さいき文化センター」の愛称使用開始

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

- 動画作成風景  
若手の映像クリエイターのサポートのもと、初めてのデジタル動画撮影に挑戦。動画編集の技術等も学びながら、Youtube やSNSで発信している。「やりたいこと」の実現に向けて、デジタルネイティブ世代の若者たちが楽しみながら学び、つながり、地域の未来の担い手として育ってきている。
- PR動画の一部  
豊かな自然とともに「100年後にも佐伯を残したい」という若者たちの熱い思いを動画で発信。地域内外の人たちと価値観を共有し、多様なつながりを広げている。

1. 都道府県名	広島県	3. 公民館対象人口	2556人	5. 来館者のインターネット接続環境	有線・無線の両方
2. 市区町村名	廿日市市	4. 建物設置年月日	平成19年4月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	5台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 地域振興部に事務移管 )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1621人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 6452人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	合計	8,073人
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 2人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 1人 ) 合計 3人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 市民センター企画運営委員会 )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 環境保全, インターネットリテラシー, デジタルデバイドの解消 )				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 298人収容可能な多目的ホールがあります。 ) <input type="checkbox"/> 自由記述 ( )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ( 津田保育園、津田小学校、佐伯中学校、佐伯高校、NPO日本医療ソーシャルワーク研究会、社会福祉協議会佐伯事務所、津田・四和ふれあいまちづくりの会、津田・四和自主防災会、各町内会、連合女性会、津田女性会、老人クラブ連合会、津田長寿会、食生活改善推進協議会(津田地区)、佐伯公衆衛生推進協議会、青少年育成廿日市市民会議佐伯支部、佐伯支所、はつかいち市民さいき図書館ほか )				

廿日市市津田市民センター

OPEN 9:00~21:30

H P <https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/site/tsutasc/>

T E L 0829-72-0336

SNS







## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 人口減少が進む廿日市市佐伯地域（高齢化率：41.7%）に所在する津田市民センターでは、地域力向上や地元高校の存続・魅力化に住民と協働して積極的に取り組んできた。
- そうした中で、令和2年、センターの主催事業「動画作成講座」に、高校の部活動（総合科学部）の一環として参画していた**県立佐伯高校の生徒や若手クリエイターを中心メンバーとして津田市民センター事業「さいき部！」**が設立されることとなった。以降、コロナ禍で対面型事業の中止・制限が継続する中で、「佐伯を自分たちの力でなんとか元気にしたい！」という**若者たちの思いや主体的な取組を市民センターが伴走**する形で活動を広げている。「さいき部！」プロジェクトは、若者の力とICTを活用したまちづくり活動として、センターに「つどう」多くの住民が、お互いに「楽しみ」ながら「学び」、「つながり」、佐伯の未来を明るく元気にしていくことを目指し様々な主体と連携しながら展開する取組となっている。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【「さいき部！」未来創造プロジェクト】若者×デジタルで佐伯の未来を創る！（主な取組）

- 人生100年時代講座「スマホ携帯電話知れば知るほど活用術」（高齢者支援）**
  - ・人生100年時代に向けて高齢者を対象に、**災害時のネット利用などの「デジタルデバインド」の解消**を目指し、コミュニケーションアプリLine等のスマートフォンの使い方を学ぶ講座を開催。「さいき部！」の**高校生たちはボランティアとして運営に参画**し、高齢者を支援した。コロナ禍での外出自粛など世代間の関わりが少なくなった地域の人たちと若者が交流し、地域活性化や絆づくりにもつながった。
- 青春応援企画!!「自分のやりたいことって？その見つけ方教えます！」（若者層の参画）**
  - ・中高生たちの「やりたいこと」を見つける講座を企画。「さいき部！」のデジタル活動をサポートする映像クリエイターの協力を得て、YouTubeのライブ配信機能を使い、今後の進路や仕事などのリアルな体験談を語り合うオンライン対談会（トークイベント）を開催した。この企画は自分たちの夢や「やりたいこと」を見つけ始めた中高生たちの活動が飛躍的に自分事としてステップアップする契機になった。
- 星空★科学ラボ「みんなで佐伯の星空を見よう！サイエンスを楽しもう！」（企業との連携）**
  - ・佐伯高校が総合光学機器メーカーの「天文部応援中！」事業に採択されたことをきっかけとし、企画に参画。高校生たちが星座や流星群について解説し、センターの屋上でスマートフォンやタブレットのアプリを用いながら天体観測するイベントを行った。また、ビスマス（金属元素）結晶を作る実験を実施し、小学生等の子供たちが楽しみながら結晶のアクセサリーを作成した。
- 佐伯の魅力を発信するデジタル動画やTRPGの作成・配信（デジタル技術の活用）**  
佐伯の魅力や「さいき部！」の活動を紹介する動画の撮影・編集・配信や、「佐伯探検」をテーマとし



人生100年時代講座  
「スマホ活用術」で



「星空★科学ラボ」の実験

た、会話をで物語を作り上げる「TRPG」（Table Talk Role-Playing Game）動画の作成・配信等、若者らしい最新のデジタル技術を活用した取組に挑戦し、Youtube配信等により、**広く世界へ向けて地域の魅力を発信**している。

【関連事業】「キャリアスタート！～カタリバミニ～」(キャリア教育・中学校連携)、「津田っ子カモン」(農業体験・交流)、「eboardゼミ」(タブレット貸出、学習支援)、「こどもがつくるまちもりうみ@つた」(子供まちづくり事業)、「教室開放」(子供の居場所づくり、学校連携)、「スマホ・PC相談室」(デジタル・デバインド解消支援(毎週金曜開催))ほか

## 3. 取組による成果や効果

- 「さいき部！」に参画する高校生たちが、実際に地域活動を企画・立案し、その運営を経験することにより、**地域の未来を自分事として考える**ようになった。さらに、事業に参加した中学生たちから、自分たちも「さいき部！」で活動をしたいという声上がり、事業への関わりが参加から参画へ発展するなどの好循環が生まれている。
- 事業に協力・協賛した関係団体から「次も一緒に活動したい」という声が上がったり、活動を知った団体から「こんなことを一緒にやれないか」という提案や依頼（例：地区の公衆衛生推進協議会からのごみカレンダーの協働作成依頼）があるなど、事業に関わる関係者の輪が広がっている。
- ソーシャルワークに取り組むNPOからの協働研究や活動助成の働きかけ等により、「スマホ携帯電話知れば知るほど活用術」講座等を実施し、「**地域福祉**」や**誰一人取り残さない「社会的包摂」の視点からの活動**の幅が広がる等の波及効果も見えてきた。



「やりたいこと」の実現に向けて真剣に語り合い中

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- センター職員（社会教育士）のコーディネートにより、活動後に、振り返り会を実施。参加者アンケートを分析して、成果と課題を整理し共有するほか、失敗したこと、よかったこと等、今後の取組につなげ改善するための方策やアイデアを集約しメンバーで話しあっている。**振り返り会の内容等を報告書としてまとめ、LINEに流してメンバーで情報共有**するほか、デジタルデータをアーカイブとして保存している。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 「さいき部！」の主体は常に「若者」たちでセンター職員はその伴走者であり、部のメンバーが自分たちで企画や役割分担、進行手順の調整、同年代の参画者探し等、当事者として常に目的意識をもち、主体的に活動していけるような伴走型の支援を心掛けている。今後も「さいき部！」の活動の発展を契機に、小学生から高齢者までの多世代の住民が集い、学び、つながることができる市民センターの運営に努めたい。



動画の構成を話し合う若者たち

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 人口減少が進む佐伯地区の学びと交流の拠点として、地域内外の多世代・多様な人たちが乗り入れ、日常的に地域づくりのためのアイデアや相談ができる「よろず相談所」のような場所していきたい。
- このために、市役所の他部局や、NPO、学校、住民や関係機関・団体等の多様な主体や人と人とのつながりを生み出し、**ソーシャルキャピタルを創出する基盤としての機能をさらに発揮**していきたい。



地域の「よろず相談所」目指します

# リモート公民館ひろしまプロジェクト

広島市中央公民館



リモート公民館LIVE2021



ゲンビアートクルーズ

## 公民館の沿革・年表

- ・昭和24年7月30日 広島市中央公民館開館
- ・昭和53年9月15日 中央公民館新築移転，複合施設で開館
- ・昭和59年11月3日 優良公民館として文部大臣賞受賞
- ・平成8年4月1日 広島市が，(財)広島市ひと・まちネットワークに広島市内の公民館の管理運営を委託。
- ・平成18年4月1日 指定管理者制度導入
- ・平成23年4月1日 財団が統合し(財)広島市未来都市創造財団となる
- ・平成26年4月1日 (公財)広島市文化財団に移行

## 左図・写真の説明等など (PRポイントなども可)

「つながることでコロナを乗り越えよう！」と，広島市内公民館で連携し，リモートで事業を行った。

- リモート公民館LIVE2021のチラシ (共催施設14館)  
広島市内公民館グループによる発表会。オンラインで広島市内の公民館と青少年センター，館外での中継をつなぎYouTubeで配信した。
- ゲンビアートクルーズ  
本財団の豊富な資源とネットワークを活かし，休館中(リニューアル工事中)の広島市現代美術館の職員が，オンラインでガイドやクイズなどでナビゲートする事業を展開。(共催施設19館)

1. 都道府県名	広島県	3. 公民館対象人口	29010人	5. 来館者のインターネット接続環境	有線・無線の両方
2. 市区町村名	広島市	4. 建物設置年月日	昭和53年9月14日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	おおむね10台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 ( (公財) 広島市文化財団 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	2213人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館，サークル活動	23792人	合計 46,292人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	6546人	( <input type="checkbox"/> ビー・図書室利用 )		
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	4人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	合計 5人
	( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 3人 )		<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	1人	
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
12. 公民館が実施している，もしくは，関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 多世代交流，国際理解，平和教育，人権問題学習，関係人口づくり )					
13. 施設の特徴，魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター )				
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 中央老人福祉センター，広島市シルバー人材センターほか )				
<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 広島市内中心部に位置し，交通の便が非常に良く，部屋数も多い )					
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学	
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input checked="" type="checkbox"/> 博物館	<input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他	
	<input type="checkbox"/> とまえ保育園，市立基町・白島・幟町小学校，幟町中学校，基町高校，広島文教大学，江崎グリコ，あしがるクラブ (環境団体)，ローカルネットひろしま (パソコン)，子ども会，児童館，中区役所，中保健センター，市立こども図書館，広島城，現代美術館，青少年センターなど				

### 広島市中央公民館

OPEN 8:30~22:00

H P [www.cf.city.hiroshima.jp/chuo-k/](http://www.cf.city.hiroshima.jp/chuo-k/)

TEL 082-221-5943

SNS <https://www.facebook.com/Chuokominkan/>







## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 新型コロナウイルス感染症まん延に伴う非常事態宣言以降、公民館も長期の事業中止など大きな影響を受けた。人と地域の繋がりが弱り、標榜してきた公民館の役割も従来の取り組みだけでは困難な状況となってきた。そんな中で、**広島市内の公民館で一早くZoomのライセンス契約を締結し、この現状の中でも実施することができるリモート事業を試みることにした。**
- 公民館がこれまで提供してきた**集合対面型の事業を補完**するとともに、幅広い学習成果の発信や**公民館の未利用層へのアプローチ**にも繋がりが、アフターコロナにおいても有効な新しい事業展開の構築を図るため、市内の公民館や美術館、市民活動団体と連携し様々なリモート事業にチャレンジした。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### 【子育て応援スペース「オンラインちゅうこう」】（子育て支援）

コロナ禍で出産し、育児をしている若い親は、同じくらいの子育て中の親と知り合う機会がない、不安を共有する場がないなど深刻な悩みを抱えている。そのような**子育て中の親を対象に「オンライン子育て支援事業」を実施した。**

### 【オンラインサマースクール「おうちで大実験」】（若者のまちづくり参画）

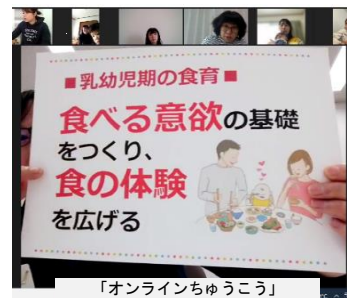
コロナ禍でボランティア活動が制限され外部との接触機会を失った大学生が、オンラインで「夏休みの**科学実験教室**」を実施。大学生が専門分野を活かそうと企画した。小学生を対象にスケルトンエッグづくりやブックトークを実施した。

### 【リモート公民館LIVE2021】（より多様な人材が地域づくりに参画する関係人口づくり）

グループの活動発表の場がない、練習に身が入らない等の相談から、**広島市内の公民館(13館+広島市青少年センター)が連携し、グループ発表会を実施した。**グループの発表だけでなく、**遠く離れた公民館をつなぎ地域の魅力をPRした。**市民活動団体にも参加を促し、活動のPRにつなげた。

### 【ゲンビアートクルーズ】（地域資源を活用したまちづくり）

広島市青少年センターと広島市現代美術館、**広島市内の公民館(17館)が連携して行った。**コロナ禍で思うように事業ができない中、**オンラインでつながることで「人口減少時代の新しい地域づくり」にもつながる可能性のある事業を展開し、現代美術館から遠く離れた地域の子どもたちも日常的にアートに触れることができる機会を設けた。**



## 3. 取組による成果や効果

### 【子育て応援スペース「オンラインちゅうこう」】（子育て支援）

同じくらいの子どもを持つママと話ができた等の感想が寄せられた。また、講座終了後は、対面（オフライン）で会うなど、**母親同士でつながりを深めるきっかけとなった。**

### 【オンラインサマースクール「おうちで大実験」】（若者のまちづくり参画）

Zoomを使って双方向のやり取りに子どもたちも楽しく参加した。大学生にとっては、企画から実施までをやり遂げ、**自信につながるとともに、公民館の存在を知り、地域に目を向けるきっかけにもなった。**

### 【リモート公民館LIVE2021】（より多様な人材が地域づくりに参画する関係人口づくり）

公民館まつり等が中止される中、公民館グループの活動発表の場がオンライン上で配信できた。広島市内公民館をオンラインでつなぐことで、**遠くに行けない広島市内の公民館に興味を持つきっかけになった。**

### 【ゲンビアートクルーズ】（地域資源を活用したまちづくり）

市内8区全てから**1館以上の公民館が連携するネットワーク事業を実施**することができた。現代美術館から遠く離れた地域の小学生が想像力を発揮し楽しく参加していた。



## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 講座終了時、アンケートを実施し、参加者の意見を聞く。
- 学識者や地域団体の会長など、29名で構成する公民館運営委員会**を年1回開催している。
- 技術面、運営面について職員間で意見交換をした。検証と改善を行い次回につなげる。



ゲンビアートクルーズ

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 市民や大学生の意見をよく聞き一緒に考え、**協働で実施できる体制づくり。**
- コロナ禍でも学びを止めず、新しい事業（リモート事業）にチャレンジする。**
- 財団のネットワークを活用し、職員同士で連携する。



職員の打ち合わせ

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- オンラインとオフラインの両方をうまく活用した事業を展開する。
- オンラインの特性をいかして、広島市内公民館や団体とのネットワーク事業を実施する。
- 大学生等、若い世代を取り込み**公民館の関係人口を増やす。**
- DXを目指す一助になるような事業展開が必要。今後は特に**SNSの情報発信**に力を入れていきたい。



リモート公民館LIVE2021

みんなで一緒になんか面白いことやってみようやあ！

福山市服部交流館



服部交流館落成記念行事にて



服部川にてほたるの放流

公民館の沿革・年表

- 平成 2年 福山市服部公民館開設
- 平成 3年 「服部の自然を守る会」設立
- 平成 4年 第1回「服部ほたる祭り」開催
- 平成 31年 「じぶんらでなんかやってみようや会」開設
- 平成 31年 「じぶんらでなんかやってみようや会」から「Smile Time」に改名
- 平成 31年 マスコットキャラクター「ピッカリちゃん」誕生
- 令和 元年 ピッカリちゃんの相棒「ゲンジくん」誕生
- 令和 3年 旧服部小学校を改修，服部交流館落成

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

**上：服部交流館落成記念行事にて出店しました**  
 服部交流館の落成記念行事で、カフェ&だし屋を出店して地域の方にとっても喜んでもらうことができました。また、**式典では司会を担当し、中学生メンバーが緊張しながらも大役を果たす**ことができました。活動が続ける中で地域の方から声をかけてもらうことが増え、互いにふれあいを楽しんでいます。

**下：環境学習の一環としてほたるの放流を行いました**  
 服部の自然を守る会が行うほたるの放流。親ボタルの捕獲や幼虫の飼育など、1年かけて準備しています。

1. 都道府県名	広島県	3. 公民館対象人口	1700人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	福山市	4. 建物設置年月日	令和3年12月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	10台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( <input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会 ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 福山市 )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 178人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館, サークル活動 1535人 <input type="checkbox"/> 講演会, 展示会等 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )			合計	1,713人
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人   職員のうち社会教育士の数 0人 )   合計 3人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 交流館運営委員会 )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
13. 施設の特徴, 魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( ほたる笑学館 ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 移設と同時にほたる笑学館が併設され小学生の環境学習等に利用されている )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ( 駅家北小学校, 駅家中学校, 駅家北学区服部まちづくり推進委員会, 福山市北部地域振興課, 駅家北学区あかるいまちづくり委員会, 駅家北学区服部福祉を高める会, 服部南保育所 )				

福山市服部交流館

OPEN 8:30~22:00   H P <https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/hokubuchiikishinkou/3676.html>  
 TEL (084)978-0810   SNS







## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

地域に唯一の学校である服部小学校が令和2年3月末に閉校になることが決定し、それを受けて「地域から子どもの声が聞こえなくなるのではないかな」、「子どもたちが活動しているところを見れなくなるのが寂しい」という声がたくさん聞かれた。

子どもたちが地域で活動することで地域の方に喜んでもらうこと、**子どもたちが多世代の人と関わる中で互いに学び合える環境**をつくること、また地域のことを考え活動に主体的に取り組む中で、地域への愛着心を醸成することを目的としている。**まちづくり＝人づくりの観点**から、子どもたち自身の創造性・協調性を育て、次世代のまちづくりの担い手としても期待したい。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### 【はっとりGENKIプロジェクト“Smile Time”子どもの体験活動、若者のまちづくり参画】

地域の声を受け、子どもたちの力で地域を盛り上げようと企画したのが「**はっとりGENKIプロジェクト**」**じぶんらでなんかやってみようや会（仮称）**」。活動に愛着を持ってほしいという思いから、**名称も子どもたち自身で選考**した。地域の人たちと笑顔で過ごす時間をたくさん持てますようにと“Smile Time”に決定した。

年度初めに行うミーティングでは、まず今年度やりたいことを**ブレインストーミング方式で意見を出し合い、決定**している。その際、①自分たちが楽しめて（80%）②さらに、地域の人にも喜んでもらえて（18%）③もっと言えば世界中のみんながハッピーになるようなこと（2%）と伝えている。その結果、1年目は敬老会での「のど自慢大会&カフェの出店」、2年目は「落成記念行事でのカフェの出店」、3年目の今年度は「手づくりのおばけやしき」と「謎解き脱出ウォークラリー」に決定。

ほぼ月に1回交流館に集まり、イベント開催に向けての準備を行う。毎回、活動を面白くするためのアイデアを持ち寄ることを宿題としている。

### 【服部の自然を守る会（地域資源を活用したまちづくり、子どもの体験活動）】

20年以上も続く「服部ほたる祭り」や、小学生の環境学習の一環として行うほたるの放流など、**ほたるを中心に置いたまちづくり**を進めている。



のど自慢大会の準備



落成記念行事では司会に挑戦！

## 3. 取組による成果や効果

- ・地域の方に子どもたちの活動を見たり参加してもらったりして、喜んでもらうことができた。
- ・新聞やテレビに取り上げてもらう機会があり（中国新聞・山陽新聞・ローカルテレビ局の人気番組）、地域外の人にも子どもたちの活動を知ってもらうことができた。
- ・イベントに参加してくれる**小学校低学年の子どもたちが、メンバーが活動する姿を見て早くメンバーに入りたいと楽しみにしてくれている。**
- ・毎年同じことをやるわけではないが、前年度の反省点を生かしながら企画を進めるなど、確実に成長を感じられている。
- ・**子どもたちの活動を通じて地域の大人たちが元気をもらい励み**にもなっている。



アンガールズと一緒に！

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

地域の各団体の長などで構成する**交流館運営委員会**において事業の報告を行い、各分野からの意見を取り入れてより良い事業が行えるよう改善を図っている。プロジェクトに参画するメンバーの子供たちに対しては、日常的なコミュニケーションの中で意見やアイデアを聞いたり、年度末のミーティングの際にはアンケートを行ったりして、次回や次年度の事業に活かすようにしている。その他、事業へ参加した方の声やアンケートについても整理し、事業の運営や内容に反映できるように努めている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

まちづくりを楽しく、面白く！やらなければならないではなく、こんなことがしてみたい、あんなことができたら楽しいだろうな、という一人ひとりの気持ちを大事にしたい。それぞれの得意を活かして、ここにも自分の居場所があると感じてもらえるように、**誰一人取り残さないまちづくり**を目指したい。



年度初めのミーティング

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

今は子どもたちがメインの活動だが、これからさらに参加者の幅を広げたい。今まで交流館やまちづくりにあまり興味のなかった世代を含め、**すべての世代が参加したいと思えるような企画**を子どもたちを中心に進めていきたい。また、デジタル化社会に向かっていく中、まだまだ面白い仕掛けが考えられると思うので、**デジタル技術等も積極的に活用**していきたい。



活動用の看板を作成